



我が家の防災・大地震への備え (1)

この度の熊本地震は直下型地震の怖さを改めて認識させられました。今後30年以内に発生する確率が70%と言われている海溝型地震の「南海トラフ巨大地震」が起これば、三田市で最大震度5強。また、三田市周辺には内陸直下型地震を引き起こす「有馬 - 高槻断層帯」、「六甲 - 淡路島断層帯」、「山崎断層帯」が分布しており、地震が起これば最大震度6弱～5強の揺れが想定されています。

地震に備えて、自分や家族の安全を守る為に日ごろから出来ることを少しずつやりましょう！！

◆◆自宅の安全を見直そう◆◆

大地震の場合、倒れた家具の下敷きになって大ケガをしたり、命に関わる事態にもなり得ます。また、窓ガラスや食器棚のガラス・食器などは割れて鋭い破片となり大変危険です。身近なところから安全を見直しましょう。

(1)家具の転倒・落下の防止

- ・本棚・食器棚などの家具は、固定具で固定しましょう
- ・寝室には家具を置かない。置く場合は、倒れても安全な向に配置しましょう



L字金具



突っ張りポール

- ・重たい物は下の段、軽い物は上の段に収納しましょう（重心を下げる）
- ・扉の無い棚には落下防止ロープなどを張りましょう
- ・家具の手前側をダンボールなどで少し高くするだけでも、完全ではありませんが効果があります

(2)ガラスの飛散防止

- ・窓や戸棚や額縁などのガラスに飛散防止フィルムを貼りましょう
- ・扉や引き出しにはストッパー付の金具を設置しましょう



ガラス飛散防止フィルム

参考：家具転倒防止の金具やガラス飛散防止フィルムはホームセンターなどで購入できます。

防災便りは、富士が丘ポータルサイトにも掲載しています。
(<http://sanda-fujioka.com/>) **富士が丘** で検索

◆震度と想定される被害（上段：揺れの感じ方、下段：屋内の状況） 太字：三田市での想定最大震度

震度4	・かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全を図ろうとする。眠っている人のほとんどが目覚めます ・吊り下げ物は大きく揺れ、棚の食器類は音を立てる。座りの悪い置物が倒れることがある
震度5弱	・多くの人が身の安全を図ろうとする。一部の人は行動に支障を感じる ・吊り下げ物は激しく揺れ、棚の食器類、書籍が落ちることがある。座りの悪い置物の多くが倒れ、家具が移動することがある
震度5強	・非常な恐怖を感じる。多くの人が行動に支障を感じる ・棚の食器類、書籍の多くが落ちる。タンス等の家具が倒れることがある
震度6弱	・立っていることが困難になる ・ 固定していない重い家具の多くが移動、転倒する
震度6強	・立っていることが不可能になる ・固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する
震度7	・揺れに翻弄され、自分の意思で行動できない ・ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある

◆つぶやき◆ 阪神淡路大震災から21年、東日本大震災から5年、月日の経過は防災への意識を風化させます。災害を未然に防ぐことは出来ませんが、備えをすることで“減災”は出来ます。日ごろの備えこそ最大の防御であることを信じて、自分や家族の自助、近隣の共助（近助）に活かしたいものです。今後、分かり易く共感が得られるような情報発信をしていきたいと思ひます。(m.y)

